

在学生の声

山梨県
出身



フレッシュマンセミナーで訪れた富浦の夕焼け

海洋環境科学科 2年 (男子)
山梨県立富士河口湖高等学校卒業

◆入学後に印象が変わった点や意外だった点は？

他の学部・学科との交流がある点が意外でした。特に1年次は海洋資源エネルギー学科と一緒に授業を受けることが多かったです。

◆入学してよかったと思ったのは、どんな時？

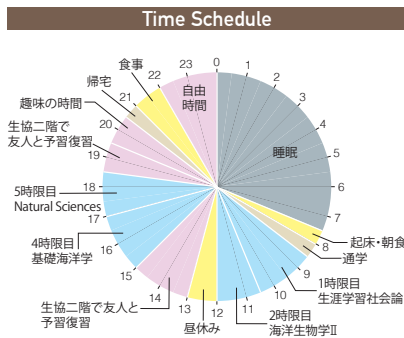
東京海洋大学ならではの授業やサークル活動に参加しているときや、様々な分野の造詣が深い人と話しているときに、この大学に入学してよかったと心の底から思います。

◆実習の楽しさ、厳しさは？

1年次のフレッシュマンセミナーでは、複数人との集団生活が大変でしたが、自由時間ではビーチコーミング(漂着物収集)や周辺の散歩などができ、友人たちとの仲を深めることができました。

◆受験生に向けて、ひとこと

他大学に比べて非常にユニークな大学で、ここできれないことがたくさんあります。入学後の活動をモチベーションに頑張ってください！



埼玉県
出身



実習で使われる観測機器の準備の様子

海洋環境科学科 4年 (男子)
さいたま市立浦和高等学校卒業

◆入学してよかったと思ったのは、どんな時？

練習船に乗って船上生活をしているときに他の大学ではできなかっただろうと思います。陸の全く見えない海域では夕日や星空がとても綺麗で癒されます。

◆学科の特長、ユニークなところは？

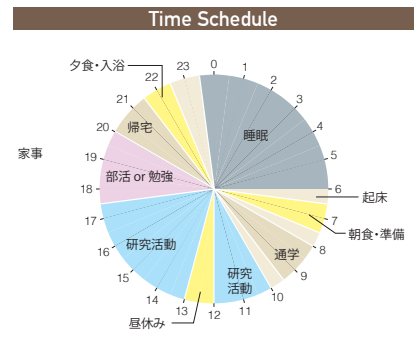
本学科で学べる海洋学は広い学問分野でありながら横断的でもあります。研究テーマの異なる人の話も自分の研究とつながっていたりと知識と興味がどんどん広がります。

◆実習の楽しさ、厳しさは？

陸で座って勉強した内容が、目の前の現象や体験として結びつくことが面白さだと思います。団体行動が苦手な人は苦痛かもしれませんが、友人と1週間以上生活をともにするのなかなかできない経験です。

◆受験生に向けて、ひとこと

学問に限らず、あらゆる興味を探求していくことが大学の楽しさです。なんとなく海に興味のある方、本学科は学問領域が広くおすすめですよ。



卒業生からのメッセージ

田中 里実さん

2015 (平成 27) 年度 海洋科学部海洋環境学科卒業
仙台管区気象台 気象防災部 地域防災推進課

私は大学卒業後気象庁に入庁し、現在は仙台管区気象台で地域の防災・減災を目指して市町村の防災対策を支援したり、災害発生時には気象台職員を派遣するといった仕事をしています。

大学では化学海洋学研究室に所属し、海水に溶けている二酸化炭素の濃度を調査していました。乗船漁業実習や研究室での東京湾の観測にも参加し、気象庁で海洋観測をしていることを知り入庁しました。入庁後は海洋気象観測船に乗船し観測を行う部署に配属され、その後は約2年ごとに様々な部署を回っています。大学では船に乗ることも含めて珍しい実習が多く、座学だけでは知り得なかった分野にも目を向けることができたと考えています。



在学生の声

神奈川県
出身



海鷹祭でのミニ水族館見学

海洋資源エネルギー学科 2年 (男子)
中央国際高等学校卒業

◆どうして東京海洋大学を選んだの？

最寄り駅が品川という立地の良さや、海洋科学を総合的に学べる国立大学ということで選びました。また、出身が海辺の町で、幼い頃から海に憧れを持っていたことも理由の一つです。

◆入学後に印象が変わった点や意外だった点は？

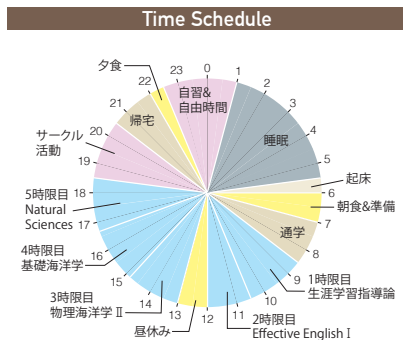
入学前、同級生は海に詳しい人ばかりだと思って身構えていたのですが、実際は想像以上に海が大好きな人からそこまで興味のない人まで色々な人がいたことが意外でした。

◆入学してよかったと思ったのは、どんな時？

活動的な人や知識の豊富な人と会うときです。高校とは違い地方からも個性的な人がたくさん集まっているため、そういった人と話すことがよい刺激になります。

◆学科の特長、ユニークなところは？

海洋に関する工学分野を幅広く学べることです。工学だけでなく、生物の研究をしている先生がいる点も珍しいと思います。



埼玉県
出身



海洋資源環境キャリア実習Ⅰでの活動

海洋資源エネルギー学科 4年 (女子)
春日部共栄高等学校卒業

◆入学してよかったと思ったのは、どんな時？

海洋資源エネルギー学実習Ⅱで神鷹丸に乗船したとき。エアガンや採水などの海洋調査の一端を体験する機会があり、海洋大ならではの实習といえると思います。

◆学科の特長、ユニークなところは？

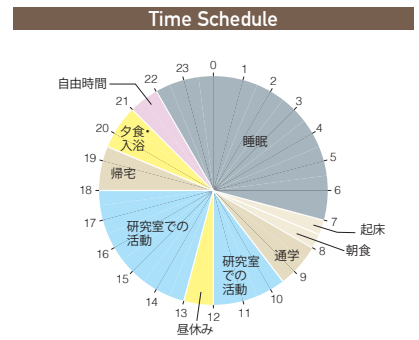
品川キャンパスで唯一工学系統の科目を学ぶ学科になっているように思います。また、様々な研究室があり、学べる分野の幅が広い点が特長であると感じています。

◆実習の楽しさ、厳しさは？

乗船機会のある実習では、船内での活動すべてが新鮮で楽しかった一方、海洋資源環境キャリア実習Ⅰでは、慣れない中での資料作成や発表準備等に苦労しました。

◆受験生に向けて、ひとこと

大学受験を突破して、自らの興味関心や好きな学びを追求できる喜びを分かち合しましょう！



卒業生からのメッセージ

池口 徳臣さん

2021 (令和3年) 年度 海洋資源環境学部海洋資源エネルギー学科卒業
ジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社 洋上風力開発本部

私は、再生可能エネルギー事業を手掛ける会社で、洋上風力発電事業のプロジェクトマネージャーを担当しています。具体的には、事業計画策定のための海底地盤調査や風況調査、風車基礎の設計や漁業共生策の検討など、幅広い業務にプロジェクトマネージャーの立場で携わっています。入学当時から再生可能エネルギーに興味があり、専門科目は「海洋開発学」を選択し、研究室では浮体式洋上風力発電に関するテーマの研究をしました。本学科の魅力は海洋資源エネルギーという幅広い分野を座学だけでなく実習での経験をふまえたうえで、より興味のある専門分野について学べることです。

